

神栖町における有機ヒ素汚染源 調査についてのお知らせ

発行・編集 環境省 環境リスク評価室、茨城県 環境対策課、神栖町 環境課、日立造船(株)

掘削調査の準備状況について

調査区域については、敷地南側造成を終了し、土留め圧入作業を予定通り 10月19日から開始しております。仮設テントの基礎工事については、前号で開始日を11月1日からとしておりましたが、工程の関係で11月6日からに変更させていただきます。

保管区域(掘削現場西側のグラウンド)については、保管テント基礎工事を終了し、今月から保管テントの設置作業を開始いたします。

今後の作業予定は次の通りです。近隣の皆様には、引き続き調査にご理解、ご協力宜しくお願い申し上げます。

今後の作業予定

・ 調査区域

10月19日～11月6日 土留め圧入作業

11月6日～11月19日 仮設テント基礎工事、門型クレーン設置

11月10日、11日 除染装置、安全管理室、分析室設置

・ 保管区域

11月5日～12月14日 保管テント設置作業

日曜、11/3(文化の日)は作業を致しません。

11月5日(金)に保管テント用の材料を搬入するため大型車が5台運行します。また、11月10日～13日のいずれかの日にミキサー車が10台程度入りますので、ご了承ください。

前記の他、掘削現場周辺等においてボーリング調査等の環境調査を別途行う予定です。

掘削作業の着手時期について

8月19日(木)の住民説明会において、掘削作業の着手時期を11月中旬頃とご説明いたしましたが、その後の天候不順その他による作業の遅れにより、掘削作業の着手は12月中になる見込みです(可能な限り作業を迅速に進めることで、年度内には事業全体を終了する予定です。)。掘削作業の着手日が確定した段階であらためてお知らせいたします。

第7回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会の結果について

環境省では、毒ガス問題の対策を講じるにあたり、学識経験者13名からなる「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会」(座長:森田昌敏(独)国立環境研究所統括研究官)を適宜開催し、専門家から総合的な指導、助言を得ながら調査を実施してきました。

10月26日(火)に第7回検討会が開催されました。そのなかで、今年8月における地下水調査の結果、A井戸、B地区周辺の地下水の汚染状況が明らかになりました。結果の概要は下記の通りです。

- ・ 去年の状況と比較して、A井戸周辺の汚染はほとんど移動していないと考えられること。
- ・ B地区では、汚染の位置が移動している可能性が示唆されること。
- ・ 全体としては汚染の拡大は認められないこと。

今後も地下水モニタリングを継続し、汚染の状況を把握していくことを決定しました。

なお、詳細な資料は環境省ホームページにて公表しております。

(http://www.env.go.jp/chemi/gas_inform/index.html)

お問い合わせ・御質問は下記の窓口へ御連絡下さい

日立造船 現場事務所	090 - 3350 - 7679
環境省 環境リスク評価室	03 - 5521 - 8262 (http://www.env.go.jp)
茨城県 環境対策課	029 - 301 - 2966 (http://www.pref.ibaraki.jp)
神栖町 環境課	0299 - 90 - 1146 (http://business2.plala.or.jp/kamisu)

